

## 圧油自動阻止弁(SASP型)

### 1. 構造

構造は次頁の如くで、一般に電磁弁「20Q」により制御されるもので、圧油制御の最終元弁であり、自動のハンドル無し指標付を製作しており、構造はアングル型を標準としています。

### 2. 操作説明

「閉」の場合、20QTより圧油及び④スプリング力により、①バルブは「閉」となります。

「開」の場合、20QSより①バルブを下げている圧油は排油され、①バルブは④スプリングを圧縮し、押し上げて「開」となります。

圧油自動阻止弁は①バルブ開閉時の「圧油の衝撃、配管振動」を避けるため、①バルブ下方ピストン部にはテーパ切欠き溝を設けてあり、その衝撃装置となっています。

### 3. 主な仕様

- |           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 1) 最高使用圧力 | 2. 94MPa(30kgf/cm <sup>2</sup> ) |
| 2) 口 径    | 25A ~ 100A                       |
| 3) 型 式    | SASP型・ハンドル無し指標付(アングル型)           |
| 4) 塗 装 色  | マンセル記号でご指示ください。                  |
| 5) オプション  | ハンドル有指標付無しも製作可                   |

